

会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	長谷川 大悟
担当業務	理事会、診療報酬改定対策強化推進部会、代議員ネットワーク検討部会 第 60 回日本理学療法学会学術研修大会準備委員会 前記に附帯又は関連する調査・調整等

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
4 月 2 日		業務執行理事会傍聴	オンライン
4 月 6 日		大規模助成金研究成果報告会	日本理学療法士協会会館
4 月 6 日		理事会	日本理学療法士協会会館
4 月 6 日		理事懇談会	日本理学療法士協会会館
4 月 7 日		組織運営協議会	日本理学療法士協会会館
4 月 7 日	○	日本災害リハビリテーション支援協会報告会	オンライン
4 月 14 日	○	日本災害リハビリテーション支援協会報告会	オンライン
4 月 15 日		診療報酬改定対策強化推進部会	オンライン
4 月 16 日		日本理学療法学会学術研修大会渉外部会議	オンライン
4 月 19 日	○	田中昌史全国後援会主催 政経セミナー	オンライン
4 月 22 日		日本理学療法学会学術研修大会準備委員会傍聴	オンライン
4 月 30 日		日本理学療法学会学術研修大会広報部会議	オンライン
5 月 7 日		業務執行理事会傍聴	オンライン
5 月 12 日		理事会	日本理学療法士協会会館
5 月 12 日		理事懇談会	日本理学療法士協会会館
5 月 12 日		OB・OG/U30・U40/代議員ネットワーク検討部会	日本理学療法士協会会館
5 月 13 日		日本理学療法学会学術研修大会広報部会議	オンライン
5 月 21 日		日本理学療法学会学術研修大会渉外部会議	オンライン
5 月 31 日		日本理学療法学会学術研修大会準備委員会傍聴	オンライン
6 月 1 日	○	自民党参議院比例区三十六支部政経セミナー	TKP ガーデンシティ京橋
6 月 1 日		代議員研修会	TKP ガーデンシティ京橋
6 月 1 日		協会賞受賞者祝賀会	第一ホテル東京
6 月 2 日		第 53 回定時総会	ベルサール汐留
6 月 4 日		診療報酬改定対策強化推進部会	オンライン
6 月 17 日		日本理学療法学会学術研修大会準備委員会傍聴	オンライン
6 月 21 日		代議員ネットワーク検討部会	オンライン
6 月 25 日		業務執行理事会傍聴	オンライン
6 月 29 日		第 59 回日本理学療法学会学術研修大会運営視察	東京国際フォーラム

所感	【診療報酬改定対策強化推進部会】 令和 8 年度の診療報酬改定を見据え、委員として参画。 現場・会員からの意見を基に、成果が報酬へと繋がるようまた各地での取り組みがしっかりと社会実装されることが求められる一方、業界よがりとならぬよう国民にとって最も還元すべき策を検討していく必要があると考える。医療・介護現場での実践者としての知見を活かし、真摯に取り組んでいく。 【大規模助成金研究成果報告会】 1 億円プロジェクトとして、協会事業費から拠出しているため、しっかりと業界のため会員のための研究となっているか精査する必要がある。当日は、2 件の研究報告に対してそれぞれ、意見を述べさせていただいた。 【日本災害リハビリテーション支援協会】 発災後、毎週日曜日に行われてきた定例報告会については、4 月 14 日をもって終了となった。理学療法士が持つ知見を、いかにして被災地支援に役立てられるか。専門職としての役割・使命を社会に発信し、実装する活動と行動を引き続き、心掛ける。 【理事会】 令和 5 年度に担当した「代議員ネットワーク検討部会」での内容を報告した。 また、協会から会員や国民に対して行う情報発信に関して、会員が減少している中、気軽にアクセスしていただくには、窓口として広報媒体発信が重要である。GigaFile 便のように、添付ファイルの開封率の測定や、アクセス解析を踏まえ、どういう手段を用いれば会員に情報が届くのか、引き続き検証していただきたい旨、意見を述べた。総務省の調査では、Instagram の利用率が全世代で増加しており、令和 3 年度調査では Twitter を上回り、LINE に次ぐ高い利用率であるという根拠を示した上で、学会法人においても Instagram を活用しているので、本会においても新たな広報媒体として様々なチャンネルを活用していただきたい旨、要望提案した。 理事会では、非現実的な理想を述べるのではなく、いかにして建設的に実行可能な提案が出来るか、会員や業界全体にとって更に良い方向となるよう常に考え、行動と発言に留意していきたいと考える。 【代議員ネットワーク検討部会】 前年度に引き続き、部会長の任を拝命し、委員と共に一定の成果が見出せるよう検討している。試行錯誤で難しい挑戦となるが、課題を提起すること自体に意味があると考え。結果は未知であるが、何も行動しなければ現状のままであり、行動したその先に見えてきた課題に対し、対応していけるよう柔軟な考えの元で、更に強固な協会組織となるべく代議員ネットワーク構築の可能性について議論を深めていく。 【日本理学療法学術研修大会準備委員会】 来年、開催予定である第 60 回日本理学療法学術研修大会の準備委員として、広報部と渉外部を兼務し、過去準備委員の経験を活かし、各種会議への参加と業務を遂行している。 【業務執行理事会】 理事は傍聴と言う立場だが、理事としての職責を全うするため、業務執行理事会への傍聴参加は欠かせないと考えている。協会の業務執行状況の把握は重要であり、業務執行理事会での議論を踏まえ、理事会等での建設的議論・意見発信へと落とし込んでいきたい。
-----------	---

	【政経セミナーへの参画】 協会の政策実現においては、想いや願いだけでは叶わない。知見を集積し、理事会等の意見の場で実行可能な議論を展開するため、政治に関する理解が必要であり、もって職務遂行にあたることが肝要である。 その他、前期に関連する各種会合において、事前調査および調整等を行った。
報告日	2024 年 7 月 8 日

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。